

(仮称) 南河内中学校区義務教育学校の校名についての提言 (第四次提言)

本協議会では、平成28年7月1日、下野市長からの南河内中学校区における小中一貫教育推進の諮問を受け、これまでに三次に渡り提言して参りました。

本年度は、本協議会の下に、(仮称)南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会、さらにその実務作業を行う部会として総務部会を設置し、南河内中学校区に創設する義務教育学校の校名について検討して参りました。

南河内中学校区の全世帯を対象とした校名募集を始めとして、総務部会での候補とりまとめ並びに絞り込み、準備委員会および本協議会での検討、地域・保護者説明会を経て、再度の検討・絞り込みを実施し、慎重協議の結果、下記の校名候補を選定いたしましたので、理由を付して提言いたします。

提言

(仮称) 南河内中学校区義務教育学校の校名を 「下野市立南河内小中学校」とする

「南河内」という名称は、昭和30年に薬師寺村と吉田村の合併により「南河内村」が誕生して以来、昭和46年の町制施行、平成18年の市町村合併を経て64年もの長きにわたり使われてきた名称であり、居住者の方々の生活に根ざした名称となっています。

また、新校は、現南河内中学校の敷地内に、中学校区内の全小中学校が集まって創設される学校であり、これまで南河内中学校を卒業した数多くの卒業生にとっても、思い出深い「南河内」の名称が残ることになります。

特に新校の教育理念は、「ふるさとを愛し 歴史の上に未来を拓き 夢に羽ばたく子どもを育てます」であります。子どもたちは、生活科や社会科、総合的な学習の時間の「ふるさと学習」などにおいて、ふるさとの特色や歴史について学習します。低学年は「南河内」地区の場所や施設、人々、自然について学び、中学年や高学年は「南河内」地区や下野市の地理的環境や歴史と人々の生活について学びます。また中学生はそれまでの学習を基本として、下野市だけでなく、より広範囲な地域や世界について学ぶことで、ふるさとへの愛着を深めながら、未来を切り拓く能力や態度を育んでいきます。

さらに、南河内中学校区の全世帯を対象とした校名募集においては、「南河内」を冠する校名が応募総数の約60%を占めていました。また、「南河内」を冠する校名の応募年齢層は、7歳から86歳までとなっております。これらの状況から、「南河内」を冠する校名は、幅広い年齢層の方々が新しい学校にふさわしいと考えた名称であり、「南河内」を冠した校名が地域にも受け入れられやすいと考えます。

「南河内」につづく呼称については、1年生から9年生までの義務教育9年間を小中学生と一緒に学ぶイメージが湧きやすく、低学年の児童にも書きやすく覚えやすい、柔らかな印象を持つ「小中学校」が適しているといえます。

以上の理由により、南河内中学校区に創設する義務教育学校の校名は、「下野市立南河内小中学校」が最適であると考えます。